

# 平成25年度予算見積調書

課室名: 会計課

担当名: 予算係

内線: 2232

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
B20	地域安全活動推進経費 (防犯カメラ関係経費)	一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	地域防犯活動推進費	
事業期間	平成15年度～	根拠法令	警察法	戦略項目			
				分野施策	010401 防犯対策の推進と捜査活動の強化		
1 事業概要	<p>スーパー防犯灯や防犯カメラ等を適正に運用することにより、犯罪が起きにくい社会づくりを推進し、県民の安全と安心を確保する。</p> <p>(1) スーパー防犯灯通信線撤去 (大宮) 930千円                  (2) 大宮駅東口防犯カメラ整備事業 2,449千円                  (3) スーパー防犯灯維持経費 (川口) 2,699千円                  (4) 子ども見守りカメラ維持経費 (戸田) 2,681千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (国5/10・県5/10)、(県10/10)	<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア スーパー防犯灯通信線撤去 (大宮): 大宮駅周辺スーパー防犯灯12基の廃止に伴う通信線撤去費 930千円                  イ 大宮駅東口防犯カメラ整備事業: 防犯カメラ40基のカメラリース料、通信回線料等 2,449千円                  ウ スーパー防犯灯維持経費 (川口): 西川口スーパー防犯灯12基の修繕料、通信回線料等 2,699千円                  エ 子ども見守りカメラ維持経費 (戸田): 戸田子ども見守りカメラ23基の修繕料、点検・清掃料等 2,681千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 大宮駅周辺の防犯カメラの再構築                  現在、大宮駅東口には県警のスーパー防犯灯12基 (平成17年3月運用開始) 及び商店街の防犯カメラ34基 (平成17年3月運用開始) が設置されているが、今後、さいたま市の空中線地中化事業によるスーパー防犯灯の縮小や老朽化が著しい商店街防犯カメラの廃止、撤去が予定されている。当地域は、県内随一の歓楽街であり、犯罪が他の地域に比べ多発していることから、治安維持に支障を来さないよう防犯カメラ整備の再構築を図る。                  (ア) スーパー防犯灯の廃止、撤去: 24年度末スーパー防犯灯運用停止、25年度通信線撤去、26年度躯体撤去予定                  (イ) 商店街防犯カメラ廃止、撤去: 25年度廃止、撤去                  (ウ) 東口防犯カメラ40基設置: 粗暴犯、悪質な客引き、飲酒トラブルなどの多発箇所に防犯カメラ40基を整備                  ・平成25年度 2,449千円 (リース 3月分) 平成26年1月運用開始予定                  ・平成26年度以降 8,781千円 (リース12月分)</p> <p>イ 西川口駅周辺スーパー防犯灯12基の適正な運用 (平成16年1月運用開始)                  ウ 戸田子ども見守りカメラ23基の適正な運用 (平成22年3月運用開始)</p> <p>(3) 事業効果                  犯罪が起きにくい社会環境基盤を構築し、安全で安心なまちづくりの推進を図る。                  ・ 刑法犯認知件数の減少                  大宮駅東口スーパー防犯灯設置地域 設置前 平成16年 931件→平成23年 329件 (△64.7%)                  西川口スーパー防犯灯設置地域 設置前 平成15年 945件→平成23年 327件 (△65.4%)                  戸田子ども見守りカメラ設置地域 設置前 平成21年 57件→平成23年 37件 (△35.1%)</p>						
3 地方財政措置の状況 普通交付税 (単位費用) (区分) 警察費 (細目) 警察活動費 (細節) 一般活動費 (積算内容) 治安維持特別対策経費							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員							
財 源 内 訳							
予算額	国庫支出金					一般財源	前年との 対比
決定額	8,759	1,340				7,419	△2,401
前年額	11,160	2,398				8,762	